

平成24年度第1四半期の緊急発進実施状況について

1 全般

平成24年度第1四半期の緊急発進回数は、82回であり、前年度の同時期と比べて24回増加しました。

推定を含みますが、緊急発進回数の対象別の割合は、ロシア機約76%、中国機約18%、その他約6%でした。

2 方面隊別の状況

平成24年度第1四半期の方面隊別の状況については、北部航空方面隊が39回、中部航空方面隊が12回、西部航空方面隊が12回、南西航空混成団が19回の緊急発進を実施しました。

前年度の同時期と比べて南西航空混成団の緊急発進回数のみが減少し、その他の方面隊は増加しました。

3 平成24年度第1四半期の特徴

ロシア機に対する緊急発進回数は62回であり、前年度の同時期に比べて38回増加しました。そのうち、5件の事例については、ロシア機が我が国領空に沿った長距離飛行をしたため、特異な飛行であるとして公表しました。

一方、中国機に対する緊急発進回数は15回であり、前年度の同時期に比べて12回減少しました。

昨年度同時期は、ロシア機よりも中国機に対する回数が多かったものの、今年度については、例年通りロシア機が大半を占めている状況です。

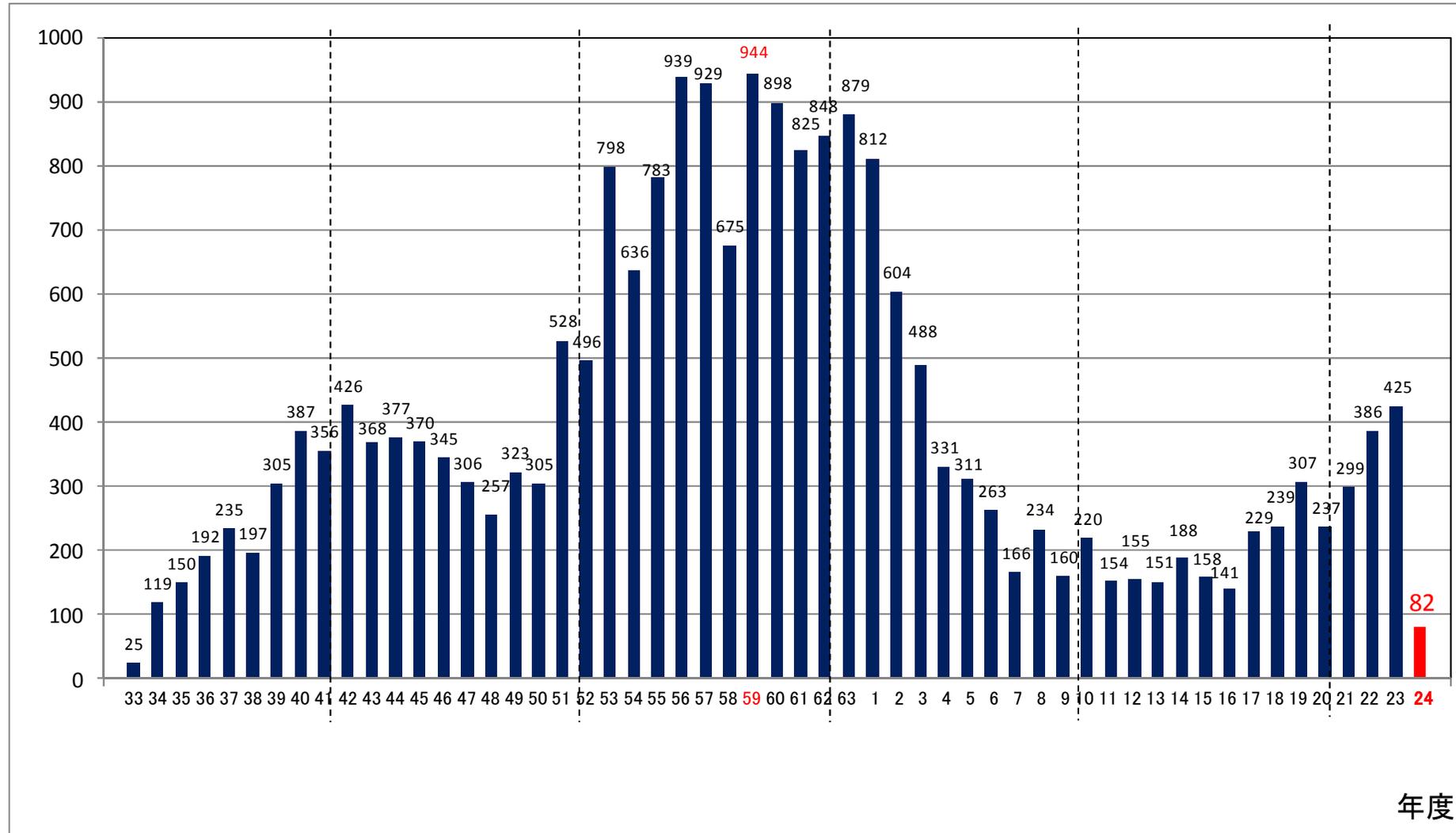
当該期間は、24.4.1～24.6.30です。

- 添付資料： 1 年度緊急発進回数の推移
2 航空方面隊別緊急発進回数の推移
3 国・地域別緊急発進回数
4 緊急発進の対象となったロシア機及び中国機の飛行パターン例

年度緊急発進回数推移

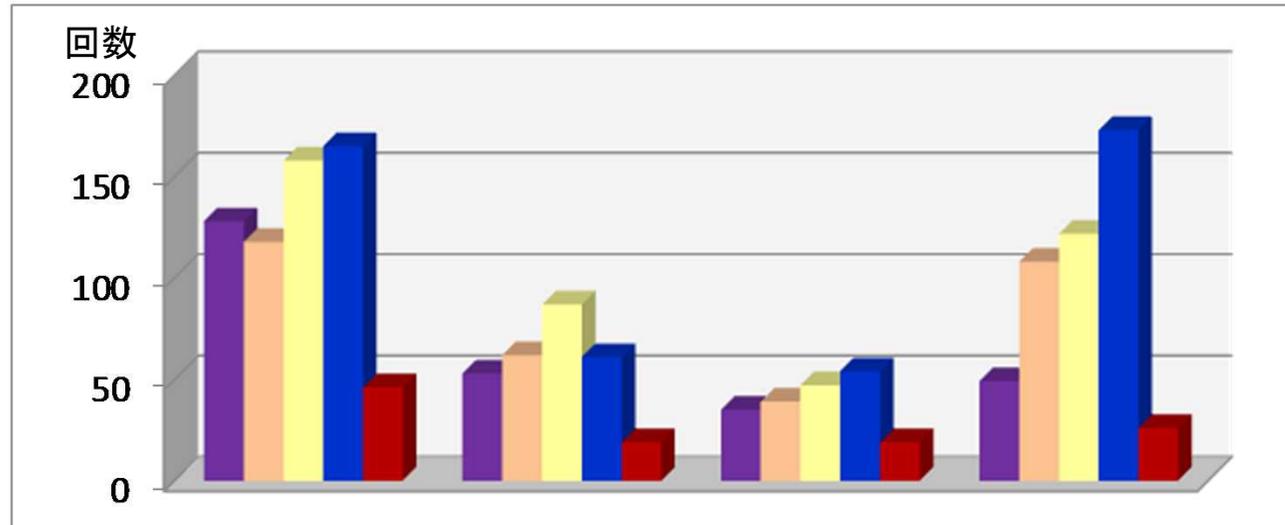
回数

24. 6. 30現在



航空方面隊別緊急発進回数の推移(過去5年間)

24. 6. 30現在



	北空		中空		西空		南混		合計	
■ 20年度	121	29	46	10	28	6	42	2	237	47
■ 21年度	111	23	55	13	32	7	101	16	299	59
■ 22年度	151	33	80	16	40	4	115	12	386	65
■ 23年度	158	20	54	4	47	2	166	32	425	58
■ 24年度		39		12		12		19		82

※ 各方面隊の左列は年度総数、右列は1／四半期(4月1日～6月30日)の回数を示す。

国・地域別緊急発進回数(過去5年間)

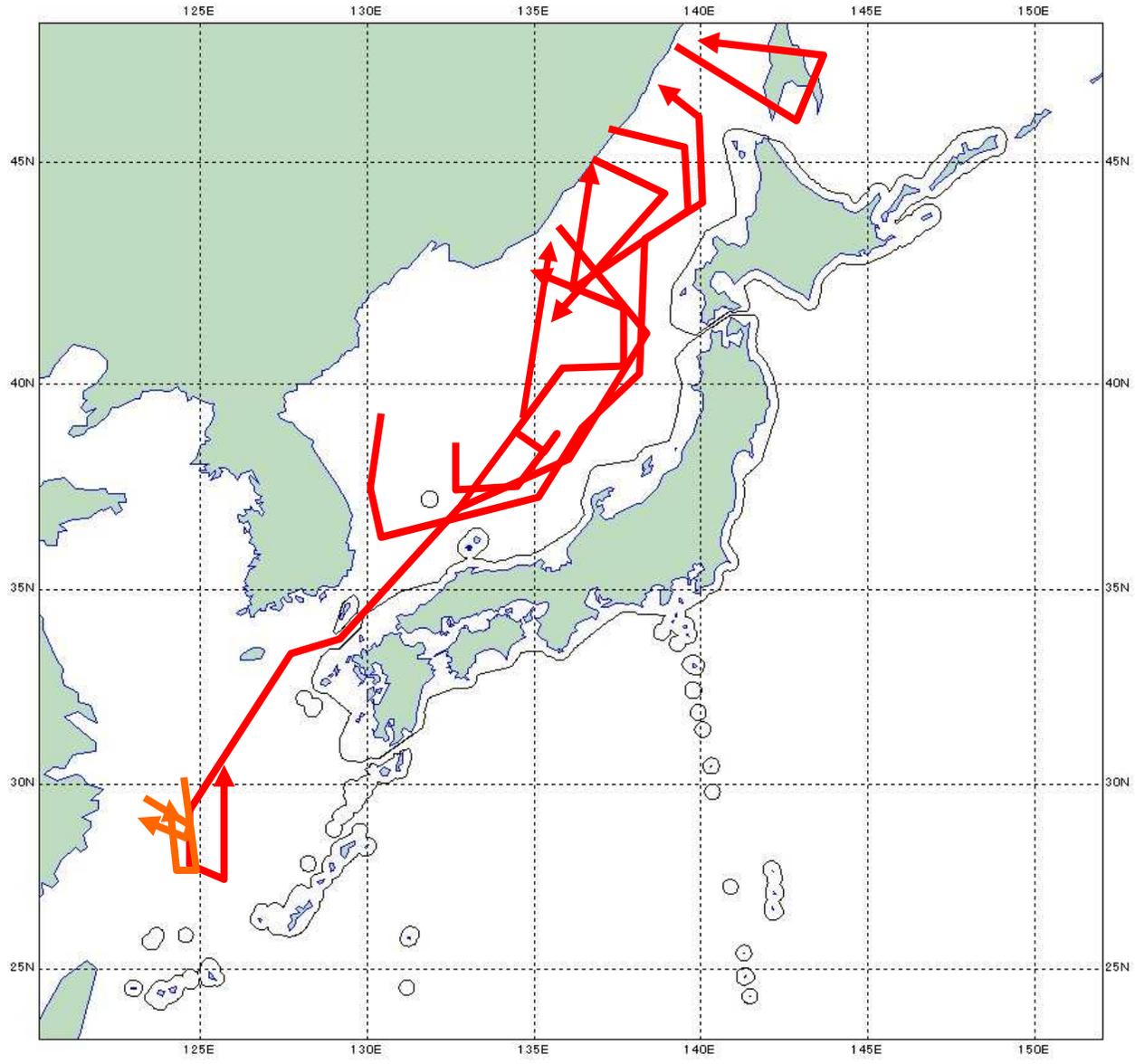
24. 6. 30現在

国・地域 年度	ロシア	中国	台湾	北朝鮮	その他	合計
20	42	1	2	0	2	47
	193	31	7	0	6	237
21	33	12	4	8	2	59
	197	38	25	8	31	299
22	52	9	2	0	2	65
	264	96	7	0	19	386
23	24	27	2	0	5	58
	247	156	5	0	17	425
24	62	15	0	0	5	82

※ 国・地域は、推定を含む。

※ 上段は第1四半期(4/1~6/30)、下段は年度1年間の回数を示す。

緊急発進の対象となったロシア機及び中国機の飛行パターン例



→ : 中国機の経路 → : ロシア機の経路